総合資源エネルギー調査会 資源・燃料分科会
鉱業小委員会（第 12 回）
議事要旨

日　時　：令和 6 年 1 月 19 日（金）17 時 00 分～18 時 00 分
場　所　：経済産業省 別館 2 階第 238 各省共用会議室 及び WEB 開催
出席者　：
○　委員：
　縄田小委員長、岩崎委員、清水委員（WEB）、所委員（WEB）、松八重委員（WEB）、名井委員（WEB）
○　オブザーバー：
　諏訪邉オブザーバー（代理：近藤専務理事）、髙原オブザーバー（代理：五十嵐理事）、野崎オブザーバー（代理：矢島副会長・専務理事）、オブザーバー
○　事務局：
　定光資源・燃料部長、有馬鉱物資源課長、土井鉱物資源課長補佐

議　題 1：鉱物資源政策の現状と今後の方向性
資料 3 について、事務局から鉱物資源政策の現状と今後の方向性について説明。委員及びオブザーバーの議論の後、終了。

議　題 2：「海洋エネルギー・鉱物資源開発計画」の改定
資料 4 について、事務局より説明後、委員、オブザーバーからの主な意見は以下のとおり。

（委員）
・日本が世界に先んじて新しい資源開発の在り方を提案しうる立場にあるのは素晴らしい成果。
・シミュレーションで得られた結果はルール形成の中で活用されるとよい。国際標準化の経験上、閾値の科学的設定が議論となるケースが多い。

（委員）
・海洋資源の調達によって周辺への生態系に影響をもたらすことが想定されるところ、影響評価のやり方を経済産業省でリードしてほしい。

（委員）
・環境問題は国際的合意と取っておくべきであり、その作成段階から積極的に関与する必要がある。

（事務局＆JOGMEC）

・ルール形成については、ISA で各国政策当局や専門家が集まって様々な議論が行われており、日本もそういった場で貢献していきたい。また、環境影響のワークショップを 2 月に東京で開催するなど取り組んでいる。人材育成も含めて引き続き御指摘を念頭に取り組みたい。

■今後のまとめについては、委員長一任とする。

お問い合わせ先
資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課
電話：03-3501-1511(内戦 4701)